

# 第3回かわさきリノベーションまちづくり検討会 開催概要

川崎駅東口周辺を中心に、空家などの遊休化した不動産や、潜在的な地域資源を活用して課題解決を図る「リノベーションまちづくり」の検討会を行っています！

## 第3回検討会

日時：平成29年3月21日（火）  
18時00分～21時00分  
場所：オンザマークス 地下

## メインテーマ：「地域の新しいツーリズム」

テーマに合ったゲストをお呼びして、自身の取組をプレゼンテーションいただき、その後、メインテーマに合わせた意見交換を行いました。



まず、(株)ブルースタジオ専務取締役の大島芳彦氏から、今あるものの価値を見出すことの重要性や、まち全体を宿と見立てたイタリアのアルベルゴ・ディフーズなどについて、続けて、HAGISO 代表の宮崎晃吉氏から、築50年のアパート「萩荘」をリノベーションし、若いアーティストが無料で個展を開けるようにした取組や、空きアパートをリノベーションし、まちを宿とみたとて、食事は提供しない宿「hanare」の取組について、お話しをいただきました。



その後、委員及び参加者の意見交換を行いました。

- ・訪日外国人客が急増しており、羽田にほど近い川崎では、これを活かさない手はない。日本の顔となることのできる場所。
- ・川崎市全体でツーリズムが成り立つといいと思っている。地域の魅力をもっと発掘していきたい。
- ・川崎のハロウィンやかなまら祭りは、外国人がすごく集まってくる。魅力発掘には「歴史」がキーポイントでは思う。
- ・日進町のあたりは、IT系産業の外国人が多く、インド系の人が多い。日進町のInternational school 幼稚園には、横浜、品川、そして千葉から通ってくる人が多い。
- ・世界を何十国と回ってきたが、誰も川崎という都市を知らない。川崎が、外国人に来たいと思ってもらえるようなまちにしたい。
- ・今のところ、外国人旅行者が川崎に泊まる理由が無い。魅力の点を増やすとともに繋げていき、面的な魅力を創出できるとよい。
- ・焼肉は、日本独自の進化を遂げており、インバウンドには向き。
- ・地域に受け入れられることを当初目的とするより、自分の取組に共感してもらえる人を少しずつ増やしていくと考えると良い。やっている自然と味方は増えるもの。
- ・コミュニティの場を創出するためには、何か日常的に使えるスペースとしなければならない。そうしないと人は集まらない。
- ・川崎では、人々がなんとなく佇める場所が少ない。アゼリア地下通路の公共スペースはたくさんの方がいつも座っている。



## 【出席者】（敬称略）

専門家	嶋田 洋平	(株)リノベリング代表取締役
ゲスト	大島 芳彦	(株)ブルースタジオ専務取締役
	宮崎 晃吉	HAGISO 代表
通年委員	石井 秀和	(株)南荘石井事務所代表取締役
	田村 寛之	川崎経済新聞編集長
	的場 敏行	(株)NENGO 代表取締役社長
テーマ委員	今田 正則	(株)やどかり取締役
	瀧澤 昌子	Kincarn International School 園長
	水沢 洋	サガミホールディングス(株)代表取締役社長
	吉岡 明治	ON THE MARKS 総支配人

問合せ：川崎リノベーションまちづくり実行委員会

(川崎市まちづくり局総務部企画課)

電話：044-200-2716

FAX：044-200-3967

メール [50kikaku@city.kawasaki.jp](mailto:50kikaku@city.kawasaki.jp)